

lion

IWATE

わが国の

梅の花とは見たれども

大宮人は如何か言ふらむ



安倍宗任は捕虜となり都に連行された際、蝦夷は花の名など知らぬだろうと公家に梅の花を差し出され、歌で返して都人を驚かしたと「平家物語・剣の巻」に記されている。

『北梅の図』 尾竹國観作／一ノ倉邸(吾郷鳥榎荘)所蔵 村尾泰造氏 模写

2013.2 FEBRUARY

332-B地区 アクティビティスローガン

あした
強い絆で 創ろう未来



平泉藤原氏のルーツ とのみのさく 〔鳥海柵〕

文責：広報委員 L.高橋 テルミ

金ヶ崎西根に表紙絵の主(安倍宗任)の城柵・鳥海柵跡があります。前九年合戦の経過を記した「陸奥語記」に安倍氏の柵として十二柵記載されています。この鳥海柵こそが残っているただ一つの柵であり、歴史に関心のある人なら誰でも知っている全国的に有名な城柵です。他の十一柵はどこにあったのか正確な場所が分かっていません。

鳥海柵は奥六郡の政治・経済の中心的存在であり、鎮守府を眼下に見下ろす胆沢川北岸の高台にあり、安倍一族にとって地理的にも重要な場所でした。「陸奥話記」によれば鳥海柵に芳醇な酒が数十瓶も貯蔵されていたと伝えられています。この大量の酒は南北から安倍一族の人々が集まって会議を開き、その後の懇親会などに使用され、一族の団結と意思の疎通を図るためのものと推測され、会合場所としては鳥海柵が最

適だったと考えられます。

又この鳥海柵は安倍頼良(後、頼時と改名・貞任、宗任の父親)の亡くなった場所としても知られています。前九年合戦の最中、一族と思われる安倍富忠が敵方に寝返ったので、頼時はこれをやめさせようと説得に出向き、伏兵の流れ矢で重傷を負い鳥海柵まで辿り着いて亡くなったのです。

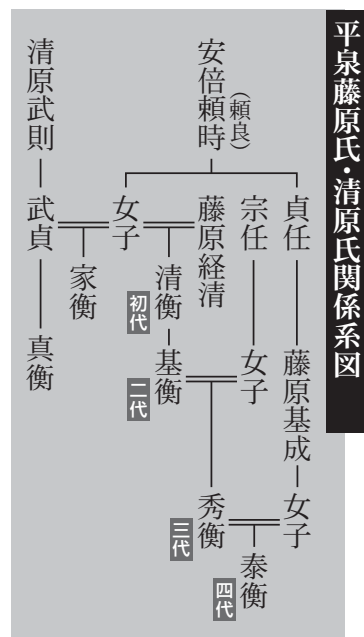
宗任は父・頼時から頭脳明晰・冷静沈着にして礼儀正しく、人格面でも優れている事から最も信頼されていた人物です。前九年合戦では厨川に追いつめられ最後まで抵抗するが貞任の戦死後、投降し、京都に連行され、のちには伊予国に流され、さらに九州の筑前大島に移されました。

宗任らの撤退後、労せずして鳥海柵に入った源頼義(朝廷から任ぜられた陸奥守兼鎮守府将軍・源氏の棟梁)は、清原武則(在秋田・源氏と連合)に対して「近年、鳥海

柵の名は聞いていたが、その実態を見ることができなかった。きょう貴方のお陰で初めて中に入ることができた」との喜びの声を「陸奥話記」が伝えています。頼義は任期を終えて都に帰る際、胆沢城に数十日滞在していたのですが、鳥海柵の中を見ようとしても果たせなかったのです。安倍氏にとって重要な意味を持つ鳥海柵は部外者を寄せ付けない厳重な備えを固めていました。この絶大な権限をもっていた筈の頼義ですらこの時までこの柵に立ち入ることができなかったのです。このように鳥海柵は国府も一目置いた治外法権的な城柵だったと考えられます。

以上、金ヶ崎町編纂の「やさしく読める金ヶ崎の歴史」を参考にしたものです。

ちなみに現首相安倍晋三氏はこの宗任の末裔と称しているようです。



第3回ZC会議並びにキャビネット会議報告

報告：広報委員長 L.久慈 勝範

雪がちらつき底冷えのする2月19日、次期ガバナー候補L.佐々木賢治のお膝元でご自身の会社でもある、一関市東山町げいび観光センターで第3回目となる標記会議が開催されました。

当日は午前11時よりZC会議、そして午後1時より2時30分まで、地区内から参集したキャビネット役員の他、オブザーバーとして参加されたホストクラブ会長、次期キャビネット役員、事務局員合わせて総勢74名での大会議となりました。

会議は冒頭千葉ガバナーのご挨拶、地区名誉顧問会議長L.高橋晴彦のご祝辞を頂き、運営報告、ガバナー重点目標の報告そしてZC並びに各委員長の現在までの報告がなされました。その後9議案が議事に掛けられ全て原案通り議決されました。

その後、席を変えて懇親会となったわけですが、ここで日頃



堂々とした様子の次期ガバナー候補L. 佐々木賢治の様子がとても落ち着いた様子に見受けられました。ご自身も後で皆様に心境を吐露していましたが、やはり地元、しかもご自身の会社での会議と懇親会ということで、とても落ち着いた気持ちということでした。今年度キャビネットはすでに山を下る気分で、次年度キャビネットはいよいよこれから山を登る準備で、少々緊張しているという対照的な様子の雰囲気でした。

さて、会議中5R1Z ZC L.佐々木菊三郎(田野畑LC)から担当クラブ内から大量の家族会員が退会されたことについてのお詫び

の発言がありました。家族会員の取り扱いについては以前から議論白熱でありました。会員の退会に歯止めをかけクラブの活性化を催す「家族会員」の重要性は認識しつつも、クラブ運営上の矛盾もあったことは事実であり、それらをも飲み込み誰もが納得するようなシステムの構築が望まれます。

今年度のキャビネットは、そういう意味において一石投じた意義は大きいと思いますので、今後この問題を引き続き議論し、より良い「家族会員制度」にしていく必要があると考えます。

県内各地から参集された各役員の皆様は、時間の都合で目の前に広がる景勝地、東山梟鼻溪の舟下りを楽しむ時間的余裕も無く、次期ガバナー候補L.佐々木賢治より、「季節の良い時期に、是非お待ちしております」のお言葉を背に、帰路につきました。



▲オブザーバー参加の次期キャビネット役員



▲現ガバナーと次期の皆様(前列)

議案審議 議長 地区ガバナー L.千葉 龍二郎

第1号議案	次期地区ガバナー立候補者承認の件	第5号議案	2013年7月～2015年6月ライオンズクエスト拡大事業におけるLCIF四大交付金助成金申請について
第2号議案	次期第一副地区ガバナー立候補者承認の件	第6号議案	第59回年次大会運営要項承認の件
第3号議案	次期第二副地区ガバナー立候補者承認の件	第7号議案	第59回年次大会代議員会提出議案承認の件
第4号議案	2012～2013年度上半期会計報告並びに監査報告の件 (1)会計報告 キャビネット会計 L.依田 修一 (2)監査報告 地区会計監査委員 L.阿部 利美	第8号議案	第59回年次大会アワードの件
		第9号議案	第4回キャビネット会議開催の件



L.佐々木 賢治

□所属クラブ□ 4R1Z 東山ライオンズクラブ
□生年月日□ 1951年6月7日(61歳)
□自宅□ 〒029-0302
岩手県一関市東山町長坂字町101
電話(0191)47-2348
□勤務先□ 有限会社げいび観光センター
□役職□ 代表取締役
□学歴□ 山形県立寒河江工業高等学校土木科
□家族□ 妻 佐々木京子、長男夫婦

ライオン歴

*1987年7月 入会
*1980年7月～1991年6月
東山ライオンズクラブ幹事
*1993年7月～1994年6月
東山ライオンズクラブ会計
*1995年7月～1996年6月
東山ライオンズクラブ会長

*2002年7月～2003年6月
332-B地区 4R1Zゾーンチェア・パーソン
*2011年7月～2012年6月
332-B地区 第二副地区ガバナー
*2012年7月～
332-B地区 第一副地区ガバナー

L.佐々木 賢治のご紹介

我が東山LCは1971年に設立され、以来40数年ライオニズムの精神に則り、精力的に活動をしてまいりました。チャーター・メンバーが5名在籍しております。当クラブから、ガバナー輩出が長年の夢、希望、目標でございました。今年は当東山LCよりL.佐々木賢治をガバナーとして輩出できますことは、我がクラブにとって大きな喜びとするところです。4R1Z挙げてのご支援の下、会員一同力を合わせ、ガバナーを盛り上げながら組織運営に精一杯努力し邁進して参る所存です。

ガバナー候補者L. 佐々木賢治は1987年7月に入会以来、クラブ幹事、会計、会長を歴任し、2002年7月からは4R1ZのZCの任を務め、特に今年度は、第一副地区ガバナーとして精力的に活動しております。

げいび溪舟下りの観光を生業として有限会社げいび観光センターの代表取締役の職をこなしながら、一関市議会議員として一関市発展のために日夜奮闘しています。また、一関商工会議所常議員、東山町観光協会会長の役職に就き、さらに地域の将来を担う少年たちの応援団として東山町サッカー協会会長を

務めるなど地域にも溶け込み、持ち前の『行動力』を発揮して、数多くの場面で地域に貢献しております。

ご家族は、奥様と長男夫婦の4人家族です。(長男の朋和氏は当クラブに1月入会、岩手県議会議員でもあります)とても家族思いで、特に奥様を大事にされて気遣う場面を時々目にすることがあります。お酒は強い方ではなく嗜む程度ですが、飲むと更に雄弁になることがあります。

『若さと行動力』を兼ね備えて、ライオニズムの原点に立ち返りながら、時代と地域ニーズに合わせたイノベーションを掲げて「会員の維持・増強」「青少年健全育成」「被災地復興支援」等の事業に精力的に取り組んでいくことを期待しています。

ライオン各位の皆様には、ご理解とご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

東山ライオンズクラブ

L.佐藤 久耕



L.吉田 昭夫

- ☐ 所属クラブ ☐ 1R1Z 盛岡中津川ライオンズクラブ
☐ 生 年 月 日 ☐ 1933年7月22日(79歳)
☐ 自 宅 ☐ 〒020-0864
 岩手県盛岡市西仙北一丁目30番52号
 電話(019)635-6534
☐ 勤 務 先 ☐ 株式会社吉田測量設計
☐ 役 職 ☐ 代表取締役会長
☐ 学 歴 ☐ 岩手県盛岡工業高等学校土木科
☐ 家 族 ☐ 妻 吉田千恵子、三男

ライオン歴

- *1994年3月 入会
 *2001年7月～2002年6月
 盛岡中津川ライオンズクラブ幹事
 *2005年7月～2006年6月
 盛岡中津川ライオンズクラブ会長
 *2008年7月～2009年6月
 332-B地区 1R1Z ゴーンチェア・パーソン

- *2009年7月～2010年6月
 会員理事
 *2010年7月～2011年6月
 332-B地区 地区国際協調・大会参加委員長
 *2011年7月～2012年6月
 盛岡中津川ライオンズクラブ一年理事
 *2012年7月～
 332-B地区 第二副地区ガバナー

L.吉田 昭夫のご紹介

ライオンズクラブに見出す魅力は各位夫々でしょうが、人との邂逅こそが…と私は思っています。なぜなら、吉田ライオンと時間を共有するたびに人間としての格がまるで違うことを思い知らされ、得難いことを学ぶ幸運に恵まれるからです。明末の戯曲『琵琶記』に「酒、和己二逢へバ千鐘モ少シ…」とありますが、まさにその感深く、つつい吉田ライオンの世界にひきこまれ盃を傾けてしまうのです。

何故なのだろう、吉田ライオンの経歴を眺めながら考えてみました。

ひとつは、日本経済の成長期・爛熟記・衰退期を見てこられたということです。豊かな経済社会と同時進行した「病める社会」の深刻化に心痛める日々を過ごされたのではないのでしょうか。そうでなければ、あの筋肉質な社会観や人生観が備わる筈がないからです。

ふたつ目は、建設省という巨額の予算を執行する世界で仕事をされたということです。安穩と生活する一般人では体験できないであろう丁丁発止の日々を過ごされたのではないのでしょうか。そうでなければ、あの当意即

妙な応対辞令のセンスが備わる筈がないからです。

そしてもうひとつは、様々な組織や団体のトップをなさったということです。先達として仲間を励まし慰め涙する日々を過ごされたのではないのでしょうか。そうでなければ、あの周りを魅了する大人の笑顔が備わる筈がないからです。

明末の碩学、呂新吾は、その著『呻吟語』で「深沈厚重ナルハ是レー等ノ資質ナリ」と喝破しています。吉田Lはまさにトップリーダーの器、必ずや皆さんの期待に応え得るものと確信しています。限りないご支援を…

盛岡中津川ライオンズクラブ

L.加藤 隆男



L.筒井 學

□所属クラブ□ 2R1Z 花巻東ライオンズクラブ
 □生年月日□ 1935年9月15日(77歳)
 □自宅□ 〒025-0097
 岩手県花巻市若葉町一丁目8-3
 電話(0198)24-5732
 □勤務先□ 北進産業機械(株)
 □役職□ 代表取締役
 □学歴□ 宮城県立小田田農林高等学校
 □家族□ 妻 筒井洋子

ライオン歴

*1975年3月 入会
 *1978年7月～1979年6月
 花巻東ライオンズクラブ幹事
 *1986年7月～1987年6月
 花巻東ライオンズクラブ会長
 *2000年7月～2001年6月
 332-B地区 2R1Z ゾーンチェアパーソン

L.筒井 學のご紹介

この度、花巻東LCより、初めて地区ガバナーを選出できます事を当クラブ会員一同大変喜ばしく感激いたしております。当クラブは勿論の事、2R1Zのクラブ会員の皆様方のご協力、ご指導を頂きながら筒井學Lを盛上げて参りますのでよろしくお願い致します。

さて、筒井Lは昭和10年9月宮城県大崎市に誕生しました。昭和41年に北進産業機械(株)を設立創業し代表取締役役に就任され現在に至っております。会社の健全経営を貫いており、現地では優良企業として定説になっております。

昭和50年3月に花巻東LCに入会され、五役を歴任し平成12年7月に2R1ZのZCに就任し、各クラブのリーダーとして各種アクティビティの促進、そしてライオンズ精神の高揚に尽くされました。

宮城県は伊達藩の育ち、藩特有の繊細で温厚な気性の持主です。屈託の無い心情で私達を導いてくれる先輩でもあります。趣味のゴルフコンペではわざと帽子を不格好に被り18ホールを回り、反省会での酒の肴になる話題作りなども致します。又例会ではライオン

ズマンとしての精神を熱く説く事もあります。

当クラブは2年前よりクラブの基本事業の一環と致しまして「青少年の健全育成」を目標にライオンズの森の整備事業に着手しております。筒井L自社の得意とする森林関連の事業でもあり、先頭に立って会員を指導しながら活躍しておられます。会員の皆さんもライオンズの森の初期活動アクティビティを楽しみに頑張っております。当クラブは2013年10月にCN40周年記念式典を計画進行中ですが、筒井Lはその時のクラブ会長(2回目)に就任する事になっております。

大変に重責多忙の日々が続く訳ですが、筒井Lは豊かなライオン歴を生かし、持ち前の素晴らしい見識を発揮され332-B地区・第二副地区ガバナーとして活躍される事と信認しております。何卒、皆様方におかれましては惜しみなきご支援、ご協力の程お願い申し上げます。

花巻東ライオンズクラブ

L.菅原 二千六

南三陸訪問記

被災地支援お泊まりツアー(移動例会)

報告：前沢ライオンズクラブツアー参加者



去る1月24日、移動例会を兼ね被災地支援お泊まりツアーへ出発。目的地は南三陸。約二時間余りで南三陸へ到着しました。

南三陸は、宮城県の北東部本吉郡の南端に位置し、東は太平洋に面し三方を山に囲まれた自然豊かなところですが、しかしそんな風光明媚なところが無残な姿になるうとは誰が予測したのでしょうか。南三陸に大津波が襲いかかった爪痕は無残で残酷でした。復興、復興とは名ばかり、爪痕はほとんどそのまま、悲しみと怒りがこみあげてきました。被災現場

を目の当たりにし長期に継続的な支援が必要であることを痛感させられました。被災現場を後にしホテルへ。ホテルも大津波で二階まで水に浸かる被害があったそうです。

18時からの移動例会は順調に進み、お楽しみの懇親会。お料理は海の幸がふんだんに使われており、とても美味しくいただきました。懇親会は大いに盛り上がり、また二次会でもカラオケで大いに盛り上がり、会員の普段見られない一面も見ることができ、新発見でした。

翌朝早朝、朝日を眺めながらの入浴は最高！日頃の疲れやストレスが吹き飛ぶほど素晴らしい眺めでした。ホテルはどこからでも海が見える絶景のホテル。全国の皆様にも知っていただき、復興支援のためにも多くの方が訪れてほしいと願っております。

9時にホテルを出発。途中市場で買い物をし、それぞれお土産を手に入れました。

私たちの支援は本当に微々たるものですが、これからも長期的にできる限りの支援をしていきたいと思っています。

東山ライオンズクラブの『奇跡』 快諾してくれた 若者たちに期待

スポンサー
東山ライオンズクラブ

L.佐藤 幸三



我が東山ライオンズクラブは
会員の平均年齢が70歳に近く、高
齢化が進み、若き会員の増強はこ
こ数年の大きな課題となってい
ました。

昨年度は私自身が会員・増強委
員長であったにもかかわらず、な
かなか成果を挙げられずにおり

ましたが、今年度、私が日ごろ積
極的に参加していた一関商工会
議所の関係で、同会議所の青年部
の若者たちに入会の誘いをかけ
ましたところ、3名が快諾してく
れることとなりました。

実は若者のうち二人は現在の当
東山ライオンズクラブの会員のご

子息で、もう一人を含めて皆商工
会議所のよき仲間なのですが、そ
んな彼らにも、実際にはライオン
ズクラブのことは「権威あるご高
齢の方々の集まり」といったイ
メージの存在だったようです。

若者の会員獲得は、我々の素晴
らしい活動を地域の人々に広く
理解していただくことは勿論、親
近感を持ってもらえるよう努力
することが必要です。

新入会員は商工会議所のよき
仲間として、奉仕活動に燃えてい
る若者たちです。そのパワーを大
いにライオンズ活動にも注いで
くれることを心から期待してお
ります。

今、東山LCは次年度に向けて燃えています！



ファミリーマート東山町長坂店 店長
齊藤 亨 (39歳)

先日ライオンズクラブの会員とな
りました齊藤でございます。

日頃よりお世話になっております
佐藤幸三様にお誘い頂き、それではと
いう事で入会させて頂きました。

ライオンズクラブにつきましては
何もわからず、ただ勢いだけはありま
すので、他の新会員2名と協力して
様々な活動を盛り上げていけるよう
にがんばりたいと思いますので、よろ
しくお願い致します。



有限会社 大工業 専務取締役
佐藤 幸淑 (39歳)

この度、正式に東山ライオンズクラ
ブに入会することが出来ました。佐藤
幸淑と申します。

昨年末の理事会にて承認を頂き、今
年初めの例会の際に盛大な入会式を
催して頂きましたこと誠に感激して
いるところです。僕の中での「ライオ
ンズクラブ」とは、地域に根ざし道徳・
教育を中心に奉仕活動をされている
印象でありましたが、具体的な活動内
容は正直まだ解らないのが本音です。

今後は、「We Serve」の精神で先輩
ライオンと交流を深めながら学ばせ
て頂き、ライオンズ活動に取り組んで
参りたいと思います。



有限会社げいび観光センター 常務取締役
佐々木 朋和 (35歳)

この度は歴史あるライオンズクラ
ブに入会をさせて頂きありがとうござ
いました。

入会させて頂ききっかけは、地域活
性化に長年取り組んで来られた先輩
方に声をかけて頂いた事と、同年代の
先輩、仲間が同時期に入会するとい
う事でありました。沿岸被災地域に行
くと、ライオンズのボランティア活動に
感謝されている方々によく出会いま
す。先輩方のこれまでの活動を汚さぬ
ようご指導を頂きながら、同世代の仲
間と地域の為に頑張ります。先輩ライ
オンと交流を深めながら学ばせて頂
き、ライオンズ活動に取り組んで参り
たいと思います。

『年間特集 第7回』 復興への 槌の音

— 陸中宮古LC —
L.山崎 貴令

東日本大震災の一ヶ月前に私は陸中宮古LCに入会させて頂きました。震災直後は、身内を探す為、避難所を回る毎日でした。

遺体安置所で身内を見つけた直後、当時の会長佐藤昇Lから「事務所が流されたから、手伝って。」と電話がありました。茫然としていた私は、何かに動かされるように事務所へ向かいました。到着すると佐藤Lが泥の中から書類や写真を集めていました。佐藤Lの目には涙がいっぱいでした。次々に集まってくるメンバー達。その姿を今でもハッキリ覚えています。

この期間、私の心に残る言葉がありました。片付けを終え歩いていると、ひとりの女子高生から「ありがとうございます。」の一言。この女の子も震災に遭ったとすぐにわかりました。

自分一人では動けなかった私に進む道を教えてくれた陸中宮古LCのメンバーと女子高生の「ありがとう」。クラブの一員として頑張っていこうと決意した時でした。キャビネット、全国のブラザークラブから多くの支援を頂き、感謝と共に組織の大きさを知りました。

今日まで様々な事がありましたが、その中でも夢灯りと他クラブとの支援が我々の「力」の源に



なっていると思います。ロウソクの灯りを見ながら涙を流す人や、目を閉じて考えている人、それぞれの思いで手を合わせていました。優しい炎と浮き上がる灯りの絵画、多くの人たちの心に確かに伝わったと思います。

他クラブとの交流では、その地域の活動のやり方や状況など、自分達が吸収し選択できる道を増やしてくれました。

現在のクラブの状況は、震災後血液が不足している事について、本当の復興について考えています。将来日本を創っていく子供たちへの支援と血液の確保は上半期から動き始めています。若輩幹事の私に協力して活動参加して

くれているメンバーの皆様に感謝しながら、より良いクラブ運営が出来る様に努力し続けます。

「ありがとう。」が沢山言える、聞ける地域作りを目指し前へ進んで行きましょう。心からの支援、本当に有難うございました。

5R1Z 陸中宮古ライオンズクラブ

事務所：宮古市築地1-1-31
TEL:0193-63-8787 FAX:0193-62-6387

会 長	田畑 耕治
幹 事	山崎 貴令
会 計	岡市 誠
会員数	35名
結成日	1982.9.20
チャーターナイト	1982.12.11
例会日	【第2水曜日】12:15~13:15 【第4水曜日】18:30~20:30
例会場	宮古市新町4-1 宮古ホテル 沢田屋

私の趣味は 飛行機 vol.1

1R1Z ZC L.篠木 清

この度ライオン誌2月号に私の趣味の飛行機の話をと依頼があり、ライオン誌に個人の趣味の話で良いのかな？と思いながらも仕事よりも大好きな趣味のことですから皆さんにお伝えしたい事は沢山あり、お引き受けすることになりました。

私は子供の頃から空(宇宙)にあこがれていました。でも操縦する事までは想像できませんでした。50歳少し前のある日、ある方から誘われたこともあり、50歳で自分自身へのプレゼントに操縦免許を取る事を決意しました。中国に航空留学とすることになりドキドキしながら操縦訓練に行きました。実技は中国、学科は日本国内で取得して合わせて航空局に申請して(自家用操縦士技能証明書)実機用免許を手にする事が出来ました。

免許の種類は色々ありますが、熱気球、グライダー、固定翼航空機(飛行機)、私は回転翼航空機(ヘリコプター)にチャレンジ。おや、篠木は飛行機に乗っているはず？実は免許にはいろいろカテゴリーがあります。私が乗っている飛行機は道路交通法だと自転車と同じ、二人乗りの飛行機です。この飛行機は現在は国家試験ではありません。操縦指導の資格のある方に学科5科目(航空法・航空力学・航空気象・操縦操作・航法)と操縦訓練に合格して航空局から『超軽量動力機技量認定書』名称がいかに日本国らしい許



▲これが私の愛機です！

可書をもらいます、アメリカでは『スカイスポーツライセンス』がカッコいいですね。最近は仕事に一段落した方のライセンス取得が多くあります。

皆さんとのお話で1番多いのが安全性です。私は自動車より安全だと思っています。飛行機もヘリコプターもエンジンが停止しても真下に落ちることはありません。飛行機には滑空比9対1とか7対1とか飛行機によって決まっていますが、グライダーのように飛ぶ能力があります。ヘリコプターの場合は説明が長くなりますので又機会がありましたら…

飛行機はコントロールタワーと無線で交信しながら飛行しますが、なぜ英語なのか？実は英語というよりは航空用語です。また母国語でOKとなっています。ではなぜ？日本語は面倒な言葉使いがあり、航空用語は端的にYESかNOです。面倒な言い回しが無く良い・悪い・どうする・しなさい・出来る・出来ない・です。また飛行場のコントロールタワーは基本的には情報を流すものであり、決定は機長が判断する事になります。

皆様が普段乗る旅客機には、空にも道路と同じようにルートが在り、目的地に一直線に飛んで行く事は出来ません。しかも通過報告地点があり、岩手県上空は札幌

コントロールと東京コントロールが管理するレーダーコントロールに報告します。それで異常なくフライトしている事が把握できる訳です。飛行機の時間は日本国ですと24時間の9時間遅れの時間で進めます。午前10時とすると午前1時となります。フライト計画は9時間遅れの時間で言います。でも面倒な時はオンタイムとして日本時間で報告する事もあります。

私は、社長業とパイロット機長は大変類似した職業といつも感じています。整備は整備士がしっかり行ないませんが、確認・決定は機長です。離陸までにあらゆる事態を考え準備します。しかしフライト中の異常事態には瞬時に判断しなければなりません。そしてすぐに操作行動をしなければ致命的な結果になりかねません。何があっても最後まで諦める事なく最善を尽くすのです。飛行機は止まって考えることが出来ないのです。

私も色々な遊び・趣味を経験して来ましたが、現在は雄大な空と雲を相手にスポーツフライトを満喫しています。言い尽くせない魅力があります。是非皆さんとフライトすることを楽しみにしています。操縦訓練(乗るだけでも)にチャレンジして見て下さい。

次号へ続く…

RAP

(リーディング・アクション・プログラム)

いよいよ始動!!

ウェイン・A・マデン国際会長の方針の一つであるRAPは「識字率の向上」を切り口に、本格的に日本でも日本本部を開設し始動しました(ライオンいわて2月号参照)。

そこで、早速千葉ガバナーのお膝元水沢LC(L.伊藤博会長)では、2月第一例会の講師として水沢図書館長伊藤勝氏をお招きし、読み聞かせの重要性についてご講演を頂き、公演終了後図書館に図書券を寄贈しました。

リーディング・アクション・プログラムという聞き慣れない活

動は、識字率の低い貧困国に対するアクティビティという枠を越えて、教育水準が高い現代日本においても、青少年の言語環境を整える有効な手段として機能します。ここでは、RAP推進の重要性をご理解頂き、各クラブではそれぞれ青少年の健全育成の後押しとなるACTを実践しているわけ

ですが、RAP推進という切り口から、健全育成のACTを見直すことも有効な手法であると考えられます。

今回、伊藤館長のご講演が掲載された新聞記事を掲載し、読み聞かせの有効性を再認識され、貴クラブのACTの一助として頂きたいと思います。

例えば…

こんな支援が
考えられます

読み聞かせと学校入学準備

雑誌を読むボランティア
図書券の寄贈支援

読み聞かせと特別なニーズ

視覚障害者ブライユ点字法の
普及促進

情報入手と情報格差

インターネット等を利用する
ことによる識字率向上支援

学習促進化向けテクノロジー

視覚障害者向け支援技術
製品の利用支援

書籍と学習資源

貧しい国々の教室に
学習用品を備える支援

読書の重要性説く

水沢図書館長が講演

幼少期の言語環境充実を

水沢ライオンスクラ
ブ(伊藤博会長、会員
50人)の例会は6日、
水沢区のリサーチユ
四季の抄で開かれ、市立
水沢図書館の伊藤勝館
長が「子どもと読書」



読書の大切さを話す伊藤勝館長

と題してゲストスピー
チ。市の読書推進の取
り組みを紹介しなが
ら、大人が子どもたち
の言語環境をしっかりと
と整えていく重要性を
訴えた。

伊藤館長は、子ども
にとって言語は自分を
形成し、世界に参加し
ていく大切な手段だと
説明。脳の神経回路の
でき方や年齢による記
憶力の推移などを示
し、「小さいうちに良
い環境を与えてあげ
ることが、大人や社
会の役割では」と提言

した。
▽学校図書館司書配
置▽家庭読書の日「ね
え、読んで」(毎月4
日)の制定▽ブックス
タート(乳児への絵本
プレゼント)——と
いった市の読書推進事
業を、「優れた取り組

み」と評価。
さらに伊藤館長は、
本に親しむと理解力・
分析力・判断力が育成
されると強調。「こう
した幅広い『知力』は
生きる力になり、課題
を的確に把握し適切に
対応できる基礎力にな
ると考えられる。子ど
もを育てる根本は言
葉。言葉育てるのは
環境。その一つとし
て、絵本から始まる読
書は大切では」と語り
掛けた。

講演終了後、同クラ
ブは同館に図書券を寄
贈。子どもたちのた
めに使ってほしい」と
伊藤館長が伊藤館
長に手渡した。

H25年2月8日掲載 胆江日日新聞

332-E(山形) 地区機関誌

最上川

もがみがわ

2月号

本誌記事が掲載されました!!

昨年9月号に掲載された「50年前の悲劇とアクティビティ」と「復興への槌の音」の、感動のアクティビティについて記憶のあるライオンもいらっしゃると思います。榎木沢橋建設にまつわる早稲田大学の学生の悲劇と供養塔を現在でも守る宮古岩手LC、田野畑LC、そして今回横浜在住のご家族を快く現地の供養まで手配いただいた久慈LCの合同ACT

感動の記事でした。

実はこの悲劇の早大生の妹さんの従兄が332-E地区金山ライオンズクラブ所属L.小野寺賢一であるというご縁で、機関誌「最上川」に掲載されました。小野寺ライオンはこの当時早大生の父親と一緒に田野畑村の現地まで来たということもあり、いっそう本誌掲載記事に感動されたようです。



▲掲載された記事

特別寄稿 「ライオンズを改めて知る」(文責:広報委員会)

2ページにわたる特別寄稿には妹さんの現地ライオンズクラブへの感謝が綿々と綴られ、次年度宮古岩手ライオンズクラブ50周年CNに従兄の小野寺賢一と一緒に

に参加させて頂きたいと書かれています。さらに本誌9月号へのホームページへのアクセス方法まで掲載されており、50年前の悲劇を風化させず地道に供養塔を

守る、地元クラブの皆様を心より「誇り」に思います。そして本誌掲載記事に注意を払っていただいた332-E地区の皆様にご感謝申し上げます。

新聞で見る!! 1月のアクティビティ

神社境内を清掃
新年に誓い新た

水沢中央LC

クラフ（久川康恵会）
本邦中史リオンズ
長は8日町、水沢区
中ノ野町の陸中一宮町
形神社（山下明宣司）
境内で清掃奉仕活動を
行った。

多くの初詣客を迎え
た同神社境内の美化に
つなげようと、毎年恒
例の取り組み「会員2
人が参加し、竹ぼうき
などで杉の枯れ葉など
を集めた。

奉仕活動の後には神社
でおぼろいを受け、ク
ラフの発展を祈願。同
クラブメンバーは「昨



胆江日日
1月11日
掲載

年は、創立45周年という大事業を無事に終えることができた。今年も奉仕活動などに積極的に取り組んでいきたい」と話していた。

世界中が仲良く願ひ

LC平和
ポスターコン
会長賞に3人輝く

一関市川崎町の川崎岩 ちの込もったポスターを
手ライオンスクラブ（Ｌ 描いてもらった。ありが
く、高橋新治会長）は22 とう」と札を述べた。



岩手日日
1月23日
掲載

平和ポスター・コンテストの受賞作品と表彰状を掲げる（左から）留目さん、千葉さん、葛西さんらと川崎岩手LC会員

して、優しい野郎の絵に
て見入る人がぞくぞく
かった。「千歳さんは絵
の賞を取ったことがな
ったので、すごくな
い。世界の人がぞくぞ
するような絵を描こう
った」「葛西さんは、
コンクールで賞を取
ことがなかったであ
い。鳩が世界の国を
つなぐつなぐを工夫
たと喜びを語った。
同コンテストでは少
の健全育成を目的に
毎年開催しており、今
のテーマは「平和和
よう」。同Ｃは町内
の小学校を対象に品
募集し、同校５年生
寄せられた17作品を
て受賞作を選出した。

北上しC・国際平和ポスター展
入賞者30人を表彰



児童30人を表彰した国際平和ポスター展表彰式

北上市の上江、鶴田連スラブ（ＬＣ、鶴田連会長）は19日、国際平和サマースのツインモビル市主催で行った。入場者30人を表彰し、平和と国際理解の推進を祈念した。

ＬＣ国際協会では毎年、地域の学校や青年グループで国際平和サマース・コンテストを開催し、若者達平和への考えを表現することを奨励している。

同じＣで13回目の開催今回は、平和を想像しようというテーマに作品

を蒐集し、市内の小学6年生から8年生の応募があつた。では菊池良が「素陶しるし」の作品がこれだ。平和を願ふ心でこれからも持ち続けたいといふとあさし、入賞者ひとりと表彰状を手渡した。

星秀雄氏に譲られた鈴木梅雪堂(木下良一、東京府北)は皇帝賞でも美術賞を獲得。東北審査は努力賞を受賞した。

星秀雄賞を除く入賞者は次の通り、敬称略。

▽優秀賞(県審査入選) 松園保実(黒沢)

▽優良賞(和歌山) 高橋毅(和歌山)

▽佳作 小澤京、宮原七雄、渡瀬千子、藤原奈奈恵(以上黒沢府北) 照井

百舌、佐藤由梨（以上黒沢沢屋） 八重隆治（黒沢沢屋） 阿部泰治（助川） 沢尻恵子（杉澤製） 飯前（以上立花） 杉澤製（飯前） 長根駿太、福地祥馬（以上更木） 高橋龍也（黒岩） 和山亮太、菅野千史（以上口内） 熊谷飛龍、角掛一夫、菊池梨那（以上照間） 松田琉斗、佐藤慶次郎、高橋肇幸、高橋雄生（以上上南） 齊藤佑里（鬼柳） 小原真由、林望（以上和國西） 高橋立、和田寛友（以上いわさき）

青少年の活躍たたえる

一関LC 24人、11団体表彰

「ＬＣ、柳樹新クラブ
関関リオンズクラブ」
の第34回「青少年リーダー
ズ賞」表彰式は3日、
一関市大手町の「関文公
センター」で行われ、20
17年度にスポーツや芸
術・文化活動などに優秀
な成績を取った市内、関
地域の児童生徒、学生24
人、団体をたえた。

表彰式には愛媛県学芸
校関係者、来賓、出陣キ
ャー会員約60人が出席。千
代彰彦同ＬＣ第2副会長
はあいさつで「皆人の力
の意欲と若さ、若い人達
・壮年の力を合わせて古
里の震災復興をかせぎま

う」と呼び掛け、「一人ひとりの活動が被災地の復興と子育て支援に貢献する」と述べた。

受賞者はそれぞれ、親や指導者に対する感謝、今後の目標などを発表。

今度の目録などを見れば、今後に輝く一関市立高専の姿が目に浮かぶ。これに輝いた二関工科大学草創部の部長（機械）照井博明前部長（機械）学科主任は「これはかなりよい。もうすぐ卒業生も輩出して、元気が車輪を回すようになってきた。車を走らせるような状況を作っていくんだ」と話した。

今年の東北地区大会では一関で開催されるのだから、熱い応援をお願いします」と語った。

カレンダー品定め

盛岡で再利用市 益金はエネスコへ



お気に入りのカレンダーを探す来場者

2013年世界のカレオクラブ主催は3ターホールで始まつ
レンダー展&カレン
リサイクル市(盛岡)の力ワトク1階エレベ
3千本以上が販売さ

奥の内の企業家向けに
 ンダや、子息の向け
 キョウター、世界の
 風雲閣をサザイした
 カレンターが、その
 一。盛岡ユネコ
 ラブや盛岡ユネコ協
 会の会長に上り、蘇
 で集めたもので、蘇
 金はユネコの活版
 金が充てられ、
 羽根オウチの
 羽根霜太郎（俳夫
 2年）は、すでに嵐
 量長（盛岡清芳）と
 れるカレンターが多
 い。ぜひ奥に入りの
 一本を正味に挙げる
 5日未、午前時
 午後時、5日は同

岩手日日
1月20日
掲載

岩手日日
1月20日
掲載



岩手日日
2月1日
掲載

January Activity

1R1Z		
盛岡	5日	レオクラブカレンダー展 協力
盛岡不来方	2、3、5日	レオクラブカレンダー展 協力
	17、24日	LCIF\$1000献金 2名
	28日	レオクラブエコキャップ収集 協力
盛岡中津川	2日	レオクラブカレンダー展 協力
	25日	LCIF\$1000献金
	28日	レオクラブエコキャップ収集 協力
盛岡観武	17日	LCIF\$20献金
	4日	レオクラブカレンダー展 協力
盛岡南	2日	レオクラブカレンダー展 協力
滝沢	24日	チャリティーオークション/益金 寄贈
	30日	レオクラブエコキャップ収集 協力
玉山姫神		
1R2Z		
岩手	6月20日~1月28日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
葛巻	12月7日	「アットホームくすまき」クリスマスプレゼント
	12月21日	「特養ホーム高砂荘」クリスマスプレゼント
	9日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
二戸	25日	カシオペア青年会議所総会
西根	16日	献血推進活動 パレンタイン献血
安代	24日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
2R1Z		
花巻	7日	ライオンズクエストフォローアップWS 開催
紫波	12日	ライオンズクエスト説明会 開催
	12、13日	紫波町スポーツ少年団柔剣道大会
	13日	献血推進活動
	13日	第2回カレンダー・バザー用品チャリティ販売会
	19日	紫波冬まつり 協力
石鳥谷	14日	花巻青年会議所賀詞交歓会
大迫早池峰	14日	郷土いろはかるた大会
花巻東		
東和猿ヶ石	25日	献血推進活動
	28日	使用済み切手 320枚送付
矢巾	11日	矢巾町駅に雨傘設置
	12日	ライオンズクエスト説明会 開催
	18日	すくすくネットワーク巡回指導
2R2Z		
北上	8、16、18日	献血推進活動
	7月11日~1月30日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	12月1日~29日	資源回収リサイクル活動
和賀	11月16日~1月7日	資源回収リサイクル活動
	8、18、24日	献血推進活動
	17日	大船渡市立赤崎中学校 義援金贈呈
北上国見	12月27日、30日	献血推進活動
	9日	献血推進活動
	16日	使用済み切手 2191枚送付
江釣子	12月25日	資源回収
	6日	献血推進活動
	8日	資源回収
	6、13日	献血推進活動
	30日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
3R1Z		
水沢	24日	使用済み切手 9064枚送付
江刺岩手	9日	献血推進活動

江刺岩手	12日	江刺青年会議所新年交賀会
	26日	奥州市体育協会 江刺区体育連盟協議会新年交賀会
前沢	5日	小学生新春書き初め大会
	20日	献血推進活動
	13日	ライオンズクラブ杯青少年剣道大会
	21日	使用済み切手 1655枚送付
水沢中央	8日	駒形神社清掃・安全祈願・朝食会
金ヶ崎	11日	金ヶ崎体育協会・新年交賀会
	12日	献血推進活動
胆沢岩手		
3R2Z		
一関	31日	青少年ライオンズ賞表彰式
平泉	22日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰式
花泉	22日	さくら園へ資源再利用品の収集支援
一関中央	18日	使用済み切手 1000枚送付
一関厳美深	27日	献血推進活動
4R1Z		
千厩	15日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
大東岩手	7日	献血推進活動
	8日	東日本大震災被災地支援 広田水産高校で餅つき
東山		
藤沢岩手	13日	藤沢町子ども芸能発表会 共催
川崎岩手	22日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
室根	31日	ひかりの箱募金
4R2Z		
大船渡	30日	「声の図書館」整備協力
陸前高田		
住田		
大船渡五葉		
5R1Z		
宮古岩手	14日	献血推進活動
久慈	7月2日~1月28日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
	7、17日	久慈市中高生海外派遣研修の出発式、到着式
	20日	献血推進活動
	23日	八戸・久慈自動車道整備促進住民大会実行委員会
田老		
陸中宮古	13日	新春世代間交流のつどい
	14日	献血推進活動
	26日	「安全で住みよいまちづくり作文・ポスターコンクール」表彰式
田野畑	12月2日	田野畑村歳末助け合い演芸会 支援
	26日	田野畑村ミニバスメダル12個贈呈、ミニバス支援
岩泉龍泉洞	13日	小本地区助け合い演芸会 協力
5R2Z		
釜石	16日	第379回LL奉仕活動
	27日	青年会議所新年交賀会
遠野	23日	障害者施設支援
	24日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
釜石リアス	24日	使用済み切手
大槌		
陸中山田		
ライオネスクラブ		
西根	16日	献血推進活動
レオクラブ		
盛岡	2~5日	第30回2013年世界のカレンダー・展リサイクル市
早池峰	14日	第37回新春郷土いろはカルタ大会
石鳥谷		
北上		
一関二高		
釜石		

ライオンズクラブ国際協会 332-B地区

第59回 年次大会のお知らせ

開催日

2013年5月12日(日)

代 議 員 会

会 場	奥州市民文化会館(2ホール【中ホール】)
受 付	9:00~9:20
委員会	9:20~9:40
開会式	9:45~10:10
投 票	
決議会	10:10~11:00

大 会 式 典

会 場	奥州市民文化会館(2ホール【大ホール】)
受 付	10:00~10:50
式 典	11:10~12:30

祝 賀 会

会 場	プラザイン水沢
受 付	13:15~14:45



雑感

「龍声」

地区ガバナー

L.千葉 龍二郎

「三陸沖M8.8大津波」死者数百、不明多数

平成23年3月11日、午後2時46分頃、国内観測史上最大のM8.8の地震があった。

百年に一度、いや千年に一度あるかという大地震があった翌日の岩手日報の報道です。岩手・宮城・福島を中心に東日本一帯を襲う未曾有の震災で多くの人命と町々を飲み込む様子は、まさに地獄絵図とも映りました。合わせて東電の原子力発電事故も伴い(地震・津波・放射能漏れ・風評)四大

被害に陥ったのです。

忘れることの出来ない、あの日から早二年、家族を失い、家を失い、町を失った今、改めて被災された皆様方にお悔やみ、お見舞いを申し上げます。国を始め県・市・町・村の復興・復興に掛ける熱意は被災地の現状を把握した、行政の在り方だと思われまします。一日も早い復興を願う次第であります。

二年が経とうとしている今、明るい話題も数多く聞こえてきます。また我々ライオンズクラブの会員の力

強いアクティビティも数多く行われております。キャビネットが進めております、被災地の商店街への買い物バスツアーには各ゾーンごとにあるいは単クラブに於いて積極的に対応され感謝申し上げます。高田松原の奇跡の一本松は復興のシンボルとして、今モニュメントとして再生される事となり、順調に作業が進められている様です。新しいシンボルが被災地をそして被災された方々に勇気と希望を与えてくれる様、願うところであります。

訃 報



故 L.目時 東次郎

享年84歳(安代LC)
2003年3月入会
1月17日逝去



故 L.及川 栄記

享年63歳(水沢中央LC)
1997年11月入会
1月19日逝去



故 L.山田 一夫

享年81歳(盛岡不来方LC)
1983年12月入会
1月21日逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

会 員 動 向

1月 新入会員一覧

クラブ名	会員名(新入/再入/転入)
盛岡中津川LC	鈴木 耕 平
	滝 浦 輝 雄
花巻LC	梅 木 彰 厚
金ヶ崎LC	小野寺 恵喜
胆沢岩手LC	千 田 長
東山LC	齊 藤 亨
	佐々木 朋和
	佐 藤 幸 淑
	菅原 とみ子
藤沢LC	沼倉 美代子
田野畑LC	小 林 孝 一
	鈴 木 隆 昭

1月 LCIF1000ドル献金者

クラブ名	会員氏名	回数
盛岡不来方LC	吉 田 浩 次	1
盛岡不来方LC	相 原 文 忠	6
盛岡中津川LC	西 本 有 伺	1

陸前高田ライオンズクラブ事務所
住所変更のお知らせ

〒029-2206
陸前高田市米崎町字佐野136-1
(南フェアリー企画内) ※TEL・FAX変更なし

釜石リアスライオンズクラブ事務所
FAX・メールアドレス変更のお知らせ

【FAX】0193-55-5245
【Mail】riaslc@quartz.ocn.ne.jp

訂正の
お詫び

ライオンいわて12月号P8復興支援事業の部分中、2R2Z ZC渡邊和美担当の復興支援事業に誤りがありました。正確な事業については、4月号で改めて訂正ご紹介いたします。

アクティビティ Photo グラフ

西根LC



献血推進活動

岩手LC



国際平和ポスターコンテスト

盛岡不来方LC



レオクラブカレンダー展

大迫早池峰LC



郷土いろはかるた大会

盛岡レオ



世界のカレンダー展・リサイクル市

花泉LC



資源再利用品の収集支援

江釣子LC



国際平和ポスターコンテスト

西根LSC



献血推進活動

水沢中央LC



駒形神社清掃・安全祈願

紫波LC



スポーツ少年団柔剣道大会

金ヶ崎LC



献血推進活動

一関LC



青少年ライオンズ賞表彰式

編集後記

今月の表紙について更に一筆。

この絵となる故事に感動した盛岡出身の首相・原敬が幼馴染だった阿部浩(東京府知事・衆議院議員・貴族院議員を歴任・安倍氏の末裔を名乗った)に、絵にして残すように依頼したと言われています。

尚、鳥海柵は近く国史跡指定の見込みです。梅の花と言えば岩手にはちょっと先。春よ来い、早く来いですね。

広報委員 L.高橋テルミ

表紙の説明：金ヶ崎鳥海柵の主・安倍宗任

宗任(貞任の弟)の妹は平泉初代藤原清衡の母であり、一方、娘は二代目基衡の妻となり、その息子は三代目秀衡である。又その秀衡と兄貞任の孫娘との子が四代目泰衡である。宗任の鳥海柵は今の金ヶ崎町西根に所在し、奥六郡(現在の奥州市から盛岡のあたりまで)中心的な役割を果たしたと言われ、全国的に有名である。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

広報委員会

発行 2013年2月25日

発行人：L.千葉龍二郎

広報委員長：L.久慈勝範

副委員長：L.平澤真樹

広報委員：L.岩淵正義、L.高橋晋、L.高橋テルミ
L.千田郁夫、L.佐々木利幸

デザイン：有限会社 アドスタッフ

印刷：株式会社 正和印刷所

編集事務局：〒023-0818 奥州市水沢区東町4番地

ダイコー壺番館水沢商工会館ビル3F

TEL(0197)23-6516 FAX(0197)23-3176